

出入国在留管理庁 2021年 令和3年末データー 【2022年 3月29日発表】 ☆2021年 12月末データOK					2022年6月8日時点確認		
2021年末 在留外国人総数 276万0,635人 2020年末 288万人 12万人4.4%↘ 2019年が最大 293万人	国別		前年末	在留資格別	前年末	都道府県別 全県減少	
	1位 中国 (不動の1位)	71万6千人	7.9%↘	1位 永住者 (倍以上)	83万1千人	2.9%↗	1位 東京 53万1千人
	2位 ベトナム	43万2千人	3.4%↘	2位 特別永住者	29万6千人	2.6%↘	2位 愛知 (ブラジル人) 26万5千人
	3位 韓国	40万9千人	4.0%↘	3位 技能実習	27万6千人	27%↘	3位 大坂 24万6千人
	4位 フィリピン	27万6千人	1.1%↘	4位 技術人文国際業務	27万4千人	3%↘	4位 神奈川 22万7千人
	5位 ブラジル (愛知)	20万4千人	1.8%↘	5位 留学	20万7千人	26%↘	5位 埼玉 19万7千人
ネパール6位1.2%増加 /米国が8位-台湾9位			永住者のみ増加 2位と3位が入れ替わった		順位不動。東京は2位に2倍。		

海外日本語教育機関調査結果 国際交流基金：3年毎 【2018年データが最新】 次の調査は2021年で発表は2022年10月の予定。			海外 学習者 国別順位	
過去最多の 142の国・地域 で日本語教育の実施を確認。中等教育学習者が最大。学習理由一位「漫画アニメJpop」			1位 中国 ↑	100万人
機関数	18,604機関	(過去最多) インドネシア、中国、ベトナム、ミャンマーで大幅増加	2位 インドネシア ↓	74万人
教師数	77,128人	(過去最多) ベトナム、ミャンマーで大幅増加	3位 韓国 ↓	55万人
海外での学習者数	384万6,773人	(再び増加) 2015年調査で学習者数が初めて減少。今回調査では前回比増 増加：中国 オーストラリア タイ ベトナム(6位) 減少 インドネシア 韓国 台湾等	4位 オーストラリア ↑	35万人
			5位 タイ ↑	17万人

日本国内の日本語学習者のデータ 文化庁：毎年【令和2年(2020年)11月1日】 ☆最新令和3年(2021年)のデータ探し中。			国内 学習者 国別順位	
機関数	2,516機関	① 法務省告知機関 602 (33.9%) ② 大学等機関 573 ③ 任意団体 472 ④ 国際交流協会 357	1位 中国	53,534人
教師数	41,755人	① ボランティア 21,898人 (52.4%) ② 非常勤 13,989人 (33.5%) ③ 常勤 5,868人 (14.1%)	2位 ベトナム	35,839人
国内の学習者数	16万人921人	出身別：アジアで136,335人 (84.7%) 留学生が国内日本語学習者割合の 94% 。 ※ベトナム人学習者の増加が著しい。	3位 ネパール	9,314人
前年2019	27万7,857人	42%減少 2019年 中国-ベトナム-ネパール-韓国-フィリピン :韓国人が大きく減少中	4位 ブラジル	6,063人
外国人集住都市13【群馬県】太田市 大泉町【長野県】上田市 飯田市【静岡県】浜松市【愛知県】豊橋市 豊田市 小牧市【三重県】津市 四日市市 鈴鹿市 亀山市【岡山県】総社市			5位 フィリピン	5,929人

日本語学習者 国別 海外/国内 順位対比		訪日外客数 日本政府観光局 (JNTO)		
海外	1位 中国 2位 インドネシア 3位 韓国 4位 オーストラリア 5位 タイ 6位 ベトナム	2021年	24万人	コロナで激減中
国内	1位 中国 2位 ベトナム 3位 ネパール 4位 ブラジル 5位 フィリピン 6位 韓国	2020年	411万人	
日本国内 留学生総数 令和3年2021年5月 242,444人 (最新)		2019年	3,188万人	
留学国内	1位 中国 11.4万人 2位 ベトナム 4.9万人 3位 ネパール 1.8万人 4位 韓国 1.4万人	中国：在留資格1位 海外国内日本語学習者1位 ベトナム：在留資格2位 国内学習者2位 韓国：在留資格3位 海外学習者3位 ネパール 国内学習者3位 留学3位		